



尼崎の100年後を考える会

尼崎市議会議員

山崎 けんいち



きらら通信 No.7

HP: y-kenichi.com

## ニ崎市予算特別委員会を終えて



尼崎市議会では厳しい財政状況の中、より有効に予算化するため、中身の精査、チェック機能を強化するため、昨年より新しい決算予算審査方法に変わりました。今までは決算は決算、予算は予算と別々の議員が審査を担当していましたが、新しい審査方式では、議員全員が常任委員会ごとに予算、進捗、決算を審査する、より専門性が問われる形になりました。私は「経済環境市民特別委員会」に所属し、経済環境局と市民協働局の予算審議を担当。所属会派「緑のかけはし」を代表して、総括質疑に初登壇させていただき

「地域社会の子育て機能向上支援について」

ボランティアとして関わっている子ども食堂、地域食堂の広報支援の重要性、有効性を問い、

「特別支援教育サポートシステムについて」では学校教育の中でなんらかの障害を抱えている児童生徒が、年々増加傾向にあり、教職員の補助が必要との観点から導入された特別支援ボランティア予算がH29年度は予算が足りない状況に陥り、当然今年度は拡充すべき予算が削られていることを指摘し、必要量を確保し、来年度は拡充すべきと申入れました。

## 兵庫県会議員 丸尾牧さんと共に！

### 神戸地裁 尼崎市議会「新政会」「維新の会」広報紙代 違法判決

今年4月神戸地裁は、政務活動費を使い尼崎市議会「新政会」「維新の会」が作成した広報紙代の一部を返還させるよう尼崎市に求めました。

原告は山崎けんいちさんを含む市民オンブズ尼崎メンバー4人。

判決では、「会派の集合写真、議員名、顔写真、肩書き、一般的な挨拶等は、当該議員の周知及び宣伝を目的としたものであると評価せざるを得ない。」と述べ、新政会に対し180万7812円を、維新の会に対し63万262円、計243万8072円を返還させるよう求めました。尼崎市は事実認定に納得できないとして同月大阪高裁に控訴しました。

なお、県議会においては、小西彦治県議（維新の会）が、県政報告紙の作成について、会派として作成した県政報告紙を小西県議の友人が経営する別の業者に一から作り直させ別の県政報告紙を作成するなど、不自然なことをしていることが丸尾の調査で明らかになりましたが、最終的に、元請け業者の事業実態が説明できず、維新の会が、282,252円を兵庫県に返還しました。

これからも、山崎さんと共に、市政、県政を厳しくチェックしていきます。



#### 【プロフィール】

昭和41年12月2日 尼崎生まれ、尼崎育ち 妻・娘と暮らしています。

平成元年 近畿大学商経学部商学科 卒業

平成元年～株式会社ジェック

平成6年～生活協同組合おおさかパルコープ

平成9年～自然食品専門店自営

平成29年～尼崎市議会議員

【所属会派】 緑のかけはし

- ・経済環境市民常任委員会委員
- ・尼崎市男女共同参画審議会委員
- ・尼崎市社会保障審議会地域福祉専門分科会委員
- ・鉄道施設整備促進特別委員会委員
- ・尼崎市総合計画市民懇話会委員



6月議会一般質問(SDGs 持続可能な開発目標について)より「手渡したいのは青い空」ある公害に関する勉強会で耳に残った言葉です。

利害が対立した場であっても、孫や子どもたちに「手渡したいのは青い空」という「自分ごと」となった願いで一致する。

孫や子どもたちにとって、住みやすい環境が持続するために、共通目標の大切さを感じました。

地球環境の危機がかつてないほど高まっているといえます。それは気候変動や環境汚染といった自然環境だけではなく、格差や差別や暴力など人間を取り巻くあらゆる環境を含めます。

その危機を解消するために国連や各国政府、世界中の市民、官民共通の目標として「SDGs(持続可能な開発目標)」が、2015年に国連サミットで加盟国

193ヶ国全会一致で採択されました。その中身は、世界共通の課題、貧困の解決・飢餓の解決・教育などの社会目標、気候変動・エネルギー・生物多様性など環境目標、雇用・インフラ・生産と消費など経済目標に加え、不平等の解決・ジェンダーの平等・平和などが17の目標として体系的に整理されています。

しかし一人ひとりの「自分ごと」としての目標にはほど遠く、ピンとこないのではないのでしょうか？

それは「途上国の問題」「17の目標が広すぎてわかりにくい」「国連、政府、大企業、専門家が勝手に言っている」

「それどころでない」などに原因があるように思えます。SDGsの理念は「誰ひとり取り残さない(No one will be left behind)」です。

これは究極の市民福祉につながります。QOL(暮らしの質)の向上は市民幸福度の向上につながります。

本来SDGsの達成は将来にわたる尼崎市民の暮らしやすさの実現につながるものと信じています。

尼崎市にも経済格差の拡大、少子高齢化、人口減少、子育て世代の転出、地域経済の縮小、福祉の縮小、医療問題、介護問題、地域の困りごとが噴出しています。

尼崎市の政策の基本枠組みとなる「尼崎市総合計画」と「SDGs」を絡めた「尼崎市版SDGs」は、尼崎の持続可能な開発目標です。しかし、計画は作っただけでは意味がありません。一人ひとりが「自分ごと」とならないと絵に描いた餅となります。

「尼崎市総合計画」も「尼崎市自治のまちづくり条例」も知らない市民の方が多のは、知ってもらふ努力がまだまだ足りないからだと考えられます。

今回の一般質問で答弁いただいた、企画財政局、ひと咲きまち咲き担当局、経済環境局、教育委員会、都市整備局はじめ、すべての部局が「自分ごと」として捉え、いかに市民の方に「自分ごと」として思ってもらえるのか？

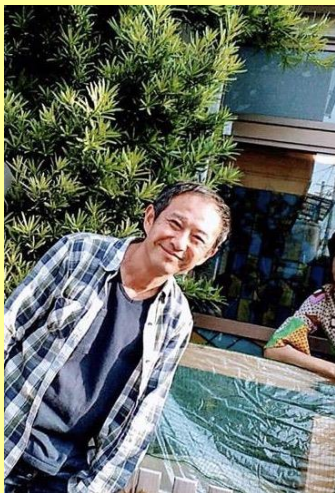
日々の業務のなかで、まちづくりのなかでどう市民参加していただけるのか？という視点が大切になってきます。

その点これからも注視してまいります。



## 市民活動

### 『尼崎しょうゆ部』



### 『議会棟見学会』



### 『まあいい食卓』

**まあいい食卓**  
まあいい食卓は、地産地消です。食を通して、地域から、ゆるく広くつながる関係をつくり、食も心も受け入れられて、あつたかく、やわらかく、やさしい、まあいい食卓。とは・・・  
子どもも、大人も、お料理が得意な方も、苦手な人も、みんなで準備をして、手作りのご飯をのしく食べる。誰でも参加できる、まるくて大きな食卓です。  
家で野菜を育てる人、それを運んでくれる人、活動費を集めてくれる人、食料の手配や、お料理をしてくれる人、活動費を広く集める人、活動費を広く集める人、たくさんの人に変えられて、この食卓が出来上がっています。

日時：毎月第3日曜日 11時～14時  
場所：さくらえんあしん 24 (尼崎市会館各階 2-7F)  
参加費：大人 300円 中学生以下無料  
※定員は30名程度で定員になり次第は終了です。  
【無料で老人福祉計、野菜たっぷりお弁当もたくさんいただきます】  
料金は、http://www.facebook.com/groups/14999231907965/、http://http.goo.ne.jp/maaiishokuzoku/

主催：みんなではんわりネットワーク  
共催：尼崎市社会福祉協議会、尼崎市長生人ホーム協会  
お問い合わせ：06-6481-6200(事務局)または06-6481-6201(事務局)

連絡

所属会派：緑のかけはし

議員控室：尼崎市東七松町1丁目23-1

尼崎市稲葉元町1-7-21-605

TEL 06(6489)6950 FAX 06(6489)6951

E-mail: yamasakikenichi.green@gmail.com